

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

がん化学療法看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、がん化学療法を受けている患者の多い病棟・外来・または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) がん化学療法を受けている患者の看護（がん化学療法薬の投与管理の実績があることを必須とする）を、5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、がん化学療法を受けている患者の多い病棟、外来で勤務していることが望ましい。
がん性疼痛看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、がん患者の看護実績を有すること。病棟での看護実績を有することが望ましい。 2) 病状の進行等に伴って生じる持続的な痛みを有するがん患者の看護を 5 例*以上担当した実績を有すること。 3) 現在、がん患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。 <p>*10 例程度の経験があることが望ましい。ただし、教育課程への提出事例は 5 事例でよい。</p>
がん放射線療法看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・治療部門での看護実績を有すること。 2) がん放射線療法を受けている患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、がん放射線療法を受けている患者の多い病棟・外来・治療部門で勤務していることが望ましい。
感染管理	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、感染管理に関わる下記のような活動実績を有すること。 最新知見や自施設のサーベイランスデータ等に基づいて、自身が中心となって実施したケアの改善実績を 1 事例以上有すること。医療施設において、医療関連感染サーベイランス（血流感染、尿路感染、肺炎、手術部位感染）について計画から実施・評価まで担当した実績を 1 事例以上有することが望ましい。 2) 現在、医療施設等において、専従または兼務として携わっていることが望ましい。
緩和ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、緩和ケアを受ける患者の多い病棟、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 緩和ケアを受ける患者を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、緩和ケアを受ける患者の多い病院、または在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
救急看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、救急部門での看護実績を有すること。 2) 救急部門において、CPA・重症外傷・意識障害・呼吸不全・循環不全・中毒・熱傷患者等の看護の中から 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、救急部門で勤務していること、または救急部門での勤務が予定されていること。
集中ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、集中ケア部門、または小児集中ケア部門（手術室・NICU は除く）での看護実績を有すること。 2) 疾病、外傷、手術などにより高度に侵襲を受けた患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、集中ケア部門で勤務していることが望ましい。

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

手術看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、手術看護分野での看護実績を有すること 2) 手術看護における器械出し看護師・外回り看護師の実績を有すること。 3) 現在、手術看護部門で勤務していることが望ましい。
小児救急看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、救急看護分野または小児看護分野での看護実績を有すること。 2) 小児救急患者・家族の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、救急看護または小児看護に携わっていることが望ましい。
新生児集中ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、新生児集中ケア部門での看護実績を有すること。 2) 在胎 32 週未満の早産児あるいは疾病を持つ正期産児の生後 1 週間以内における重症集中ケア及び親・家族の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、新生児集中ケア部門で勤務していることが望ましい。
摂食・嚥下障害看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、摂食嚥下障害患者が多い保健医療福祉施設、または在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 摂食嚥下障害患者を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、摂食嚥下障害患者の看護に携わっていることが望ましい。
透析看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、透析看護分野（血液透析療法）での看護実績を有すること。 2) 透析導入期・維持期の血液透析患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。腹膜透析患者の看護実績を有することが望ましい。 3) 現在、透析部門に勤務していること、または透析部門での勤務が予定されていること。
糖尿病看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、糖尿病患者の多い病棟、または外来での看護実績を有すること。 2) インスリン療法を行っている糖尿病患者または合併症のある糖尿病患者の看護を、合わせて 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、糖尿病患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
乳がん看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、乳がん患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること。 2) 乳がん患者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、乳がん患者の看護に携わっていることが望ましい。
認知症看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算 3 年以上、認知症者の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等での看護実績を有すること。 2) 認知症者の看護を 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、認知症者の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等で認知症者の看護実践に携わっていることが望ましい。

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

脳卒中リハビリテーション看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、脳血管障害患者の多い部署での看護実績を有すること。 2) 急性期にある脳血管障害患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、脳血管障害患者の多い施設等で勤務していることが望ましい。
皮膚・排泄ケア	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、外科系領域またはストーマケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) ストーマ造設患者の看護を1例以上、及び創傷または失禁ケア領域の看護を4例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、創傷ケア、ストーマケア、または失禁ケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
不妊症看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、不妊症患者の多い病棟または外来等での看護実績を有すること。 2) 不妊症患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、不妊症患者の多い病棟・外来等で勤務していることが望ましい。
訪問看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) 医療処置及び管理を要する患者の在宅における看護（退院支援を含む）を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、在宅ケアに携わっていることが望ましい。
慢性呼吸器疾患看護 (2016年度まで)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、慢性呼吸器疾患患者の多い病棟を中心とした看護実績を有すること（その間、外来、IRCU、または在宅ケア領域での実践を含んでよい）。 2) 慢性呼吸器疾患の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること（入院から退院まで責任をもって担当した経験、またはそれに準じる内容であること）。 3) 現在、慢性呼吸器疾患患者の看護に携わっていることが望ましい。
慢性呼吸器疾患看護 (2017年度から)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、慢性呼吸器疾患^注患者が多い病棟を中心とした看護実績を有すること（その間、外来、IRCU、または在宅ケア領域での実践を含んでよい）。 注：COPD、間質性肺炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核後遺症、非結核性抗酸菌症、肺線維症、睡眠呼吸障害等。神経・筋疾患による呼吸障害を含む。以下、慢性呼吸器疾患と省略する。 2) 慢性呼吸器疾患の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること（入院から退院まで担当した経験、またはそれに準じる内容であること）。 3) 現在、慢性呼吸器疾患患者の看護に携わっていることが望ましい。

特定看護分野の実務研修内容の基準
(特定の看護分野における看護実績及び教育課程入学時に望まれる勤務状況)

(2016年度まで) 慢性心不全看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、心不全患者の多い病棟での看護実績を有すること（その間、外来、在宅ケア部門での看護実績を含んでよい）。 2) 心不全の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、心不全患者の多い循環器系病棟或いは外来、在宅ケア部門で勤務していることが望ましい。
(2017年度から) 慢性心不全看護	<ol style="list-style-type: none"> 1) 通算3年以上、心不全患者の多い病棟での看護実績を有すること（その間、外来、在宅ケア部門での看護実績を含んでよい）。 2) 心不全の増悪期から回復期にある患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、心不全患者の多い病棟或いは外来、在宅ケア部門で勤務していることが望ましい。